

路地百選推薦書【No. 204】

推薦者氏名：鈴木 隆男

推薦する路地（のまち）の名称	弘前市かくみ小路
所在地	弘前市新鍛冶町、土手町

【推薦する理由（路地のよいところ）】

弘前市の中心市街地の土手町通りの北、蓬莱橋を渡った下土手商店街と夜の歓楽街である鍛冶町を結ぶ一本の小さな通り「かくみ小路」がある。明治時代に「角み呉服店」の隣にある小路であったことから命名されたという。土手町通りと鍛冶町通りをつなぐこの小路には、老舗の喫茶店やレストラン、居酒屋などが並んでいる。土手町側から入ってすぐのこの喫茶店「万茶ン」（まんちゃん）は、東北最古の喫茶店として、さらに旧制弘前高校在学時代の太宰治が足しげく通ったことでも有名なお店である。寿司屋・居酒屋・焼き鳥屋・小料理屋・レストラン・バーなどが建ち並び、古き良き昭和の香りが薫り、空き店舗が目立っている。

【写真添付】



上：かくみ小路の入り口
 右：かくみ小路の案内図
 左上：小路にある祠
 右上：昭和の映画ポスターを掲げるお店



路地	面積	約	h a	路地の延長	約	m
のまちの概要	まちの成り立ち、特色等	江戸時代に弘前町方屋敷割りで鍛冶屋が、後に新鍛冶町が出来たと思われる。1899年（明治22年）弘前市に編入以後、職人・商店街に発展、1953年（昭和27年） - 弘前電気鉄道が開通し、吉野町に中央弘前駅が設置され、それとともに娯楽街・歓楽街になる。				
		土手町通りは、弘前城から南下する参勤交代の街道筋に当たり商人が軒を連ねていた通りである。戦後は、老舗百貨店「かくは宮川」を中心に発展、昭和41年には土手町通りの拡幅と舗道部分のアーケードが完成、現在の同商店街の骨格が形成された。				
		この2つの性格が異なる街を結んでいたのが、かくみ小路である。				

※路地のまちの概要は記入できる範囲で結構です。それぞれの枠の大きさは各自で調整願います。